

令和7年度第3回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議

1 開催日時 令和7年7月30日（水） 午前10時開会

2 開催場所 市役所中庁舎4階第二委員会室

3 出席委員

委員長	中島 緑	委 員	千葉 香織
副委員長	千葉 みゆき	委 員	根本 佳子
委 員	加藤木 好美	委 員	神崎 保
委 員	大川 洋子	委 員	大熊 賢滋
委 員	横田 一美	委 員	福原 道子
委 員	星野 ひろみ	委 員	馬場 武敏
委 員	石井 啓	委 員	泉水 弘幸
委 員	大久保 和佳奈	委 員	東 雅弓

4 欠席委員

委 員	浅野 友維	委 員	杉谷 乃百合
委 員	武井 千尋	委 員	和田 舞子

5 出席職員

市民子育て部部長	加藤 寿起
子育て支援課長	若月 義治
子育て支援課副課長（こども給付班長）	須藤 浩二
子育て支援課こども家庭センター 主幹	牧野 恵美
子育て支援課こども家庭センター 上席社会福祉士	阿部 勝広
子育て環境推進班 主査	増田 一輝
子育て環境推進班 主任主事	八隅 翔慎
子育て環境推進班 主事	西條 冬馬
保育幼稚園課施設管理班長	芦田 敏宏
保育幼稚園課副課長（認定・給付班長）	岡 智彦
健康推進課すこやか親子班長	今井 恵
学校教育課副参事（指導班長）	南 啓介
学校教育課副課長（学事保健班長）	薩摩 智一

6 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5 人
傍聴人数	0 人

7 議題

- （1）袖ヶ浦市子育て応援プラン（第2期）の進捗状況報告等について
- （2）小規模保育事業所整備運営事業者の選定について
- （3）その他

8 議事

1 開 会

2 委員長挨拶

※委員長より挨拶

3 議題

4 その他

5 閉 会

議題（１）袖ヶ浦市子育て応援プラン（第２期）の進捗状況報告等について

中島議長

それでは、議題（１）袖ヶ浦市子育て応援プラン（第２期）の進捗状況報告等について事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料により説明

中島議長

ありがとうございました。

それでは、委員の皆様、ご質問やご意見はございますでしょうか。

【 質疑・応答 】

星野委員

資料１－３の「１－２７放課後子ども教室推進事業」について、評価がＣとなっており、その理由として、地域団体等へ呼びかけを行ったが、ボランティア確保にまで至らなかった、となっていますが、地域団体等というのは主にどのような団体か伺います。

また、「１－３０総合型地域スポーツクラブ活性化事業」、こちらも要するにボランティアが足りなくなってしまったとのことだと思うが、どのような対策を行っているのか伺います。

事務局

まず、「１－２７放課後子ども教室推進事業」について、所管する部署が生涯学習課となっており、「１－３０総合型地域スポーツクラブ活性化事業」も、所管する部署がスポーツ振興課となっております。本日の会議には担当者の出席がないため、詳細については担当課に確認のうえで後日ご回答させていただきます。

星野委員

承知しました。人材不足が原因かと思いますので、どのように対策をしていくのか、確認して教えていただければと思います。

石井委員

資料１－３の「７－１５放課後児童健全育成事業での障がい児受入れ」について、令和６年度の実績が１４クラブとなっているが、目標値６クラブをかなり超えて推移している。途中で目

標値を変更しなかったのはなぜか。また、実際の受入れの実態をどのように捉えているか伺います。

事務局

目標値については、子育て応援プラン第2期を策定した際に、令和2～6年度の目標値を設定したもので、計画期間途中での変更は行っていないところです。

また、受入れ実態についてですが、障がい児を受け入れるための職員配置に対して、放課後児童クラブの補助金を加算しており、これらのクラブは障がい児に専ら対応する職員が配置されていることから、受入れが難しいというような状況は生じていないと認識しています。

石井委員

これから目標値を変更する予定はあるのか伺います。

また、補助金が加算されるからという理由で障がい児の受け入れを行うクラブもあるかもしれませんが。受入れの質の評価をどのように行っているのか伺います。

事務局

まず、目標値につきましては、令和7年度からの5年間については子育て応援プラン第3期となりますので、これまでの実績等に基づいて目標値を設定することになります。

次に、障がい児の受入れに係る質の評価についてですが、市のほうで、市内全クラブに対して、障がいのある児童の処遇に関する研修を実施しており、質の向上を図っております。

また、全てのクラブが対応しているという状況には至っておりませんが、事業者側に対しては、第3者評価の実施を促しております。

石井委員

第3者評価については費用も掛かってくることから、事業者としても取り組みが難しいと思われる。第3者評価の実施に対しての費用補助なども検討してもらいたい。

大熊委員

資料1－4の3ページ目の上段、令和6年度当初における計画及び実績値について、特に1～2歳児、当初計画で590人が実績626人となり、6%ほどのずれが生じています。この要因を伺います。

事務局

まず、児童数は計画1,124人に対して実績1,077人であり、母数の増加が要因ではありません。従って、利用率が伸び、保育の需要が伸びているということになります。

具体的な要因としては、女性の就業率の上昇、共働き世帯の増加が、こうした需要増につながっていると考えています。

大熊委員

この36人増えた部分について弾力的な受入れにより対応しているものと思うが、令和7年度においてこの傾向はどのようになっているのでしょうか。今後、3～5歳児にも影響が出てくるのでしょうか。

事務局

令和7年度については、小規模保育事業所の整備支援を進めており、その中で1～2歳児の量の確保を図ってまいりたいと考えております。3～5歳児については既存の施設で受入れが可能と考えております。

大熊委員

1～2歳については、新たな施設の整備によって対応予定であり、3～5歳も対応できているということで承知しました。

中島議長

他にご意見ご質問ありますでしょうか。

それでは、他に質問ご意見がないようですので議題（1）袖ヶ浦市子育て応援プラン（第2期）の進捗状況報告等についてを終了いたします。

中島議長

続きまして議題（2）小規模保育事業所整備運営事業者の選定について事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料により説明

中島議長

ありがとうございました。

それでは、委員の皆様、ご質問やご意見はございますでしょうか。

【 質疑・応答 】

大熊委員

こちらの事業者ですが、市原市のほうで主に運営されているとのことでしたが、事業所内保育所も運営されているのか、また、長く保育事業に携わられているのか伺います。

事務局

事業所内保育所を含め、合計4事業所を運営しており、10年以上保育事業に携わっている事業者となります。

中島議長

他にご意見ご質問ありますでしょうか。

それでは、他に質問ご意見がないようですので議題（2）小規模保育事業所整備運営事業者の選定についてを終了いたします。

本日は皆様の貴重なご意見をいただきましてどうもありがとうございました。

それでは、本日の議題は全て終了いたしましたので進行事務局の方にお返しいたします。

事務局

議題の方が全て終了いたしました。

本日の日程は全て終了いたしましたので以上をもちまして令和7年度第3回袖ヶ浦子ども・子育て支援会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

閉 会